

研究者を目指す中高生・大学生のためのワークショップ

「植物と昆虫のコミュニケーションを解き明かす」

主催：科学技術振興機構（JST） さきがけ「植物分子の機能と制御」領域

「さきがけ」は国立研究開発科学技術振興機構（JST）が進めている研究プログラムです。さきがけ「植物分子の機能と制御（植物分子）」はその一つで、2020年に発足し、研究総括のマネジメントと10名の領域アドバイザーによる助言のもと、30名の新進気鋭の研究者が、“植物分子”（植物由来化合物及びその関連遺伝子）をテーマとして、生体内や生態系内での分子の働きの解明と、その有効利用のための基礎的知見の創出に向けた研究を進めてきました。同時に、若手研究者の育成にも力を入れています。

今回のワークショップは、「将来の若手研究者の育成」という観点から、将来研究者を志している中高生や大学生を念頭に置いて企画したものです。植物と昆虫のコミュニケーションに関する研究の第一線で活躍する二人の研究者が、研究の面白さを体験できる実験などを交えたワークショップ形式の講演を行います。研究に関心をお持ちの皆様や、研究者を目指す皆様のご参加を心よりお待ちしております。

参加登録

下記 URL（右の QR コード）より事前登録受付中、当日会場での参加受付も可能です。（当日参加を希望される場合、定員の状況により参加をお断りする可能性がございます。あらかじめご了承ください。できるだけ事前登録をおすすめいたします。）



https://form2.jst.go.jp/s/presto_pmol2025_01 (事前登録・8月8日(金)17:00まで)

開催概要

日時： 2025年8月11日(月・祝) 13:30 - 17:00 (受付開始 13:10)

会場： 日本科学未来館 7階 金星ルーム (会場のみでの開催・入場無料)

※日本科学未来館の常設展、特別展、ドームシアターへの入場には別途料金が必要です。

アクセス： <https://www.miraikan.jst.go.jp/visit/location-directions/>

新交通ゆりかもめ 「東京国際クルーズターミナル駅」より徒歩5分、/

「テレコムセンター駅」より徒歩4分

東京臨海高速鉄道りんかい線 「東京テレポート駅」より徒歩15分

問い合わせ先：JST さきがけ「植物分子」領域担当 presto-pmol@jst.go.jp

プログラム

開始	終了	発表者／所属／発表タイトル
13:30	13:35	西谷 和彦 神奈川大学 理学部 特任教授 (「植物分子」研究総括) 開会挨拶
13:35	15:05	奥山 雄大 国立科学博物館 筑波実験植物園 研究主幹 「巧みに昆虫を操る花に魅せられて」
15:05	15:15	休憩
15:15	16:45	高林 純示 京都大学 生態学研究センター 名誉教授 「植物が発するかおりメッセージを解読する」
16:45	17:00	質疑応答
17:00		クロージング

《終了後アンケートに回答いただいた方には、日本科学未来館 常設展の招待券をプレゼントいたします》

研究者を目指す中高生・大学生のためのワークショップ 「植物と昆虫のコミュニケーションを解き明かす」

講演概要

「巧みに昆虫を操る花に魅せられて」

奥山雄大 国立科学博物館 筑波実験植物園



偉大なフランスの科学者ジャン・アンリ・ファーブルは、研究室
内で飼育していたオオクジャクヤママユのメスに夜間多数のオ
スが集まる現象を見出し、これがフェロモン発見のきっかけとな
りました。

現在、私も含め多くの植物学者が、花が特定の昆虫を招き、花粉
を運ばせる仕組みがどのようなものか、どのようにして進化して
きたのかに興味を持っています。ここでも鍵となるのはやはり
「匂い」のようです。

ファーブルに倣い、自然に対する真摯な目と感動を始点として、
少しでも明らかにすることができた「花が昆虫を操る仕組み」に
ついてお話しします。



「植物が発するかおりメッセージを解読する」

高林純示 京都大学 生態学研究センター

植物の葉から出る微量なかおりは、植物と他の生物（昆虫など）
や植物と同種、異種植物とのコミュニケーションのツールとして
機能していることが明らかになってきています。

本講演では、葉のかおりが媒介するコミュニケーションの不思議
さ、面白さ、まだわからないこと等について、わたしたちがこれ
まで研究してきた内容を中心に解説します。

※特定のかおり成分を染み込ませたビーズを用いた調香実験も
行う予定です。かおり（香料）にアレルギーのある方、敏感な方
はご注意ください。



(写真は農研機構・安部順一郎博士提供)